

ボジラーネ

改題 高齢協「会報」

国会へ怒りのデモ行進!

2015 全国高齢者集会

9月15日、退職者連合は、安保法案をめぐる国会が緊迫する中、午後1時から、霞ヶ関の日比谷公会堂で2015全国高齢者集会を開きました。集会では、阿部保吉会長が全国から参加した2千人を前に平和の大切さと社会保障制度の充実を訴えました。来賓では、連合の神津里季生事務局長、民主党の長妻昭代表代行、社民党の吉田忠智党首がそれぞれあいさつ。また初めて中央労福協、労金協会、全労済の各代表があいさつしました。地域からは、被災地から宮城高退連合、福祉ボランティア活動などでは岡山高退連と茨城高退連合からそれぞれ報告されました。

同日午後5時から、連合が組合員1000名を動員しし国会・参議院側で「安保関連法案成立阻止9・15緊急国会前行動」を展開しているのあわせ、退職者連合のデモ参加者は全員でこの行動に合流しました。連合・民主党とともに安保法案阻止の怒りの声をあげました。参議院議員面会所では、安保法案を審議している参院特別委員会で廃案に向けて奮闘している参議院民主党・同社民党を激励しました。



集会後は国家に向けてデモ行進

高齢者集会では、海外での武力行使に道を開く「集団的自衛権行使容認」を強行した安倍政権に対し、生き生きと安心して暮らせる社会をつくるためにも、日本国憲法の理念を空洞化し、平和を脅かし、国民の暮らしを不安・苦境に陥れている安倍政権とは厳しく対峙して行かなければならない、としたアピールを採択しました。

迷惑勧誘行為に対し自治体要請開始

退職者連合

現在、消費者委員会特定商取引法専門調査会では、訪問勧誘・電話勧誘に関する規制強化へ向けた法改正の審議が行われております。8月末には、「中間整理」が公表され、多数の論点が提示されましたが、最大の焦点である不招請勧誘規制については、一部業界を中心とした激しい反発により、十分な検討が進められない状況でした。

しかし、10月から審議が再開されることになり、

賛同団体である退職者連合も法改正に向けた審議を注視し、運動の取り組みを強化することとなりました。(内容は以下のとおり)

1. 各地方自治体の消費生活条例に「不招請勧誘の禁止」を規定すること。
2. 電話勧誘拒否登録制度の施策を講じること。
3. 訪問勧誘拒否制度を導入し、「お断りシール(ステッカー)」の交付などの施策を講じること。

上越地域高齢協 総会

新しい総合事業のチェック

上越地域高齢協は、9月4日、第21回定期総会を開催し、地域包括ケアシステムの構築や新しい総合事業のチェックなどを柱とする運動方針を確認しました。特に、「介護予防・日常生活支援総合事業」の計画が比較的進んでいるといわれる上越市の事業に積極的に参加しチェックしていくとの方針が盛り込まれました。

総会終了後は、上越市健康づくり推進課から、栄養士と保健師を招き、「生涯を通じた健康づくり」と題した講演会を行い、健康年齢をどう引き伸ばしていくかを参加者全員で考えました。

JAM シニアクラブ 総会

5%の組織拡大を確認

9月24日、JAM シニアクラブは第14回定期総会を開催しました。

活動方針では、組織拡大、シニア共済の加入促進、参議院選での組織内候補の当選に向けた取り組み、地域高齢協への積極的な参画などを確認しました。特に、全国正会員1万人登録を組織拡大目標に掲げ、新潟においては、5%の組織拡大を目指し、単組シニアクラブの結成と会員拡大を現役役員との連携機関である「連携強化懇談会」を通じて現役組織の支援、協力をもって進めていくことが確認されました。

NTT 労組退職者の会 総会

会員と会とを結ぶ地区組織を

NTT 退職者会は、10月15日、第17回定期総会を開催し、地区協活動の活性化、共済活動、親睦旅行、会報の定期発行などを確認しました。特に、地区組織の特性をふまえたレクやサークル活動、ボランティア、生活応援など、自主的・自律的活動を強めるとしました。

昨年の活動をふりかえって、新会員の勧誘が進み組織拡大につながったことや、親睦旅行では、「世界産業遺産の富岡製紙場」には90名の人が参加したことや女性を中心とした東京宝塚公演・築地市場の旅が好評を得たと報告されました。

ニセ電話デレンワ作戦・水際シャットアウト作戦で
高齢者の詐欺被害を防ごう！

役員世代交代が課題

越後交通労組高退会 総会

9月6日、越後交通労組高退会は第39回定期総会を開催しました。運動方針では高齢者の生活に関わる社会保障制度（年金・医療・介護・税制）が、安心して暮らせるようにする、地域包括ケアシステムの確実な実現などに取り組むことが確認されました。また、役員の高齢化が進み、世代交代も課題であるとし、新規会員の活動協力を更に進めていくこととしました。

総会終了後の懇親会では、会員の中で昨年度は入院していた方が今年は元気よく参加していたことが報告されるなど「健康」を祝いました。

メンバーへの積極参加を！

南支部 総会

新潟地域高齢協南支部は、9月8日、第20回定期総会を開催しました。

運動方針では、これからの退職後の生活を楽しく豊かに過ごし、安心して暮らせる社会を築くため、「少子高齢化」「格差社会」「年金」「医療介護」など課題に取り組んでいくことを確認しました。

また、高齢協の方針の実践のほか、メンバーへの積極的参加、総合生協、「労働金庫との協力関係の推進、研修会・学習会への参加、組織拡大、にいがたライフサポートセンターへの協力も確認しました。

ふれあい事業を継続

村上地域高齢協 総会

10月17日、村上地域高齢協は、第16回定期総会を開催し、高齢協の三課題の取り組みを基本に、健康寿命をのぼす「健康増進する活動」として、毎年実施している会員のふれあい事業を実施していくことなどを確認しました。

活動報告では、地域包括支援センターを招き、独居高齢者の見守り隊の必要性、地域のボランティア活動など高齢者の果たす役割、特に老人クラブなどが地域包括ケアシステムにかかわる必要性があることなどを研修してきた経過が報告されました。

第2回 高齢協拡大幹事会

期日 11月13日（金）12時30分
会場 新潟駅前 ガレッソ
議題 ・15年度自治体要請内容等
地域高齢協の会長・事務局長の出席もお願いします